



2024第7回

鹿児島市 景観まちづくり賞

2024 The Best of Kagoshima Landscape and Architecture Award

- 📍 建築部門
- 🌿 景観部門
- 🏠 屋外広告部門



鹿児島市建設局
都市計画部都市景観課

〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号
TEL:099-216-1425
<https://www.city.kagoshima.lg.jp/>

発行:2025年2月

鹿児島市 景観まちづくり賞

ごあいさつ



下鶴 隆央
鹿児島市長

鹿児島市は、世界有数の活火山・桜島や、波静かな錦江湾などの世界に誇れる素晴らしい自然景観、磯地区の旧集成館をはじめとする世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」など、個性あふれる歴史・文化を有し、多様な都市機能が集積する南九州の中核都市として発展してきました。

これらの豊かな自然や鹿児島の風土・文化に育まれてきた美しい景観は、地域社会共有の財産であり、次の世代にもしっかりと引き継いでけるよう、本市の良好な景観を創り、守り、育て、すべての方々に住みたい、訪れたいと感じていただける「選ばれるまち」を目指す必要があります。

第7回鹿児島市景観まちづくり賞は、新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、4年ぶりの開催となりました。建築部門19件、屋外広告部門6件、景観部門5件の応募をいただき、3日間にわたる厳正な審査を経て、建築部門3件、屋外広告部門3件、景観部門3件、特別賞1件を選出しました。

審査においては、「建物の構造、デザインに加え、周辺の景観に配慮した建築」や「周辺に対し色彩を配慮した屋外広告物」のほか、「景観の観点から地域課題の解決につながる取組」にも注目が集まり、高く評価されたところです。

受賞された皆様方には、心からお祝い申し上げますとともに、美しい景観のまちづくりにかける思いと、それを実現するための熱心な活動に心から敬意を表します。皆様方の優れた取組を通して創り出された一つひとつの美しい景観が、多くの方々から広く愛され、地域の新たな魅力として定着していくことを期待しております。

本市におきましては、「魅力ある都市景観の形成」をテーマに、市民、事業者、行政の協働による良好な景観づくりを推進してまいりました。

特に本市特有の景観や歴史的価値のある建造物など希少な景観を有する地区については、「景観形成重点地区」に指定することとしており、「八重の棚田地区」、「磯地区」、「南洲門前通り地区」、「喜入旧麓地区」、「歴史と文化の道地区」、「慈眼寺公園周辺地区」を指定しております。

今後ともこれまでの鹿児島ならではの良好な景観を守りながら、魅力的な景観のあるまちづくりを推進してまいりますので、市民の皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、審査会の委員の皆様をはじめ、本賞の運営にご支援、ご協力を賜りました方々、そして今回ご応募いただきました皆様方に心から感謝を申し上げ、あいさついたします。

審査にあたって



星野 裕司

第7回鹿児島市景観まちづくり賞
審査会 委員長

熊本大学
くまもと水循環・
減災研究教育センター教授

平成22年の第1回から隔年で開催されてきた「鹿児島市景観まちづくり賞」は令和2年の第6回から4年ぶりに開催されることとなりました。前身の「鹿児島市建築文化賞」から続く由緒ある賞の審査委員長をはじめを務めさせていただくこととなり、大変光栄なことだと感じると同時に、素晴らしい諸先輩が育んできた伝統をしっかり引き継げるよう、身が引き締まる思いで務めさせていただきました。

第7回の審査は、10月9日および10月19、20日の3日間にわたって実施しました。審査対象は建築部門19件、屋外広告部門6件、景観部門5件でしたが、すべての部門でバリエーション豊かな内容でした。初日は書面審査をもとに現地審査対象を選ぶ一次審査、2日目に現地審査、3日目は現地審査を踏まえて行う二次審査を行いました。今回は建築部門5件、屋外広告部門3件、景観部門3件について現地審査を行い、審査会で議論を重ねた結果、表彰対象となる作品・活動として、建築部門3件、屋外広告部門3件、景観部門3件、特別賞1件を選定することができました。応募いただいた方々に感謝申し上げるとともに、受賞されたみなさまにお祝い申し上げます。

私自身、熊本に暮らし始めてもう四半世紀が過ぎようとしています。残念ながら、鹿児島市を訪れたことは数えるほどしかありませんでした。その限られた機会も、専門家というよりは、一市民として鹿児島の街を楽しませていただいたものに過ぎません。そのような立場で、審査委員長という重責を担っても良いのかどうか、とても不安に感じながらも、経験豊富な審査員の方々や景観行政に真摯に取り組まれている事務局の方々に助けていただきながら、無事、優れた作品や活動を表彰することができました。

今回の議論や視察を通して、鹿児島市の景観に対して強く感じたのは、芯がしっかりしていながらも豊かな多様性を内包する、いわばコスモロジーのようなものです。毅然として存在する桜島、陽光にきらめく錦江湾、天文館を中心とした街並みと、それらを囲む緑豊かな台地や山並み。鹿児島市を北から南まで審査で伺わせていただきましたが、このコスモロジーをわずかながらでも垣間見せていただいたように思います。鹿児島の気候に配慮し、積み重ねられた歴史を尊重し、日々の手入れを怠らない。今回の受賞作品・活動は、それぞれのあり方で、このまともある鹿児島らしさの一端を担っていたのではないかと感じています。「鹿児島市景観まちづくり賞」としては、これからも優れた景観を形成する建築物や屋外広告物、市民の方々の活動を表彰することを通して、鹿児島らしい景観づくりに貢献していけたらと考えています。



キラメキテラスヘルスケアホスピタル

鹿児島市交通局跡地の再開発地区の一角に建てられた、198床の回復期・慢性期を担う病院である。キラメキテラスと名づけられた再開発は、高度急性期機能を備える別の病院とともに、ホテルやマンション、小売店と立体駐車場で構成されている。

外観を形成するのは、鹿児島の厳しい日射に対応するために設置された、軒の深い庇の重なりである。この建物は、市電の通り大通りから見ると、もう一つの病院の奥に立っているのだが、7層にも積み重なる水平線が、のっぺりとした箱形の建築が多い街中であって、抑制された色使いとともに、控えめながらも印象的な表情をこの建物に与えている。

病院の中に入ると、慢性期の患者たちへの配慮に満ちた様々な工夫が溢れている。まず計画として特徴的な点は、南北に長い病棟を3つのブロックに分けたゾーニングである。通りに面した南側のブロックは病室と共にデイクォーターやリハビリスペース、真ん中のブロックはスタッフゾーンを病室で挟みその東西に縁側廊下を巡らせていて、北側は、ストレッチャーの入るエレベーターとともに中廊下の通常の病棟の形状としている。最もユニークな真ん中のブロックでは、縁側廊下やスタッフエリアを使い上手く動線を機能化させており、ここにナースステーションのような役割を持たせて両翼を管理しており、難しい計画を上手くまとめている。これらの計画によって、病室から2方向に開く動線の自由度や縁側廊下を使った開放的な回遊、深い軒のテラスによる園芸活動など、入院中の患者にとって貴重となる日常的な快適さを実現させている。

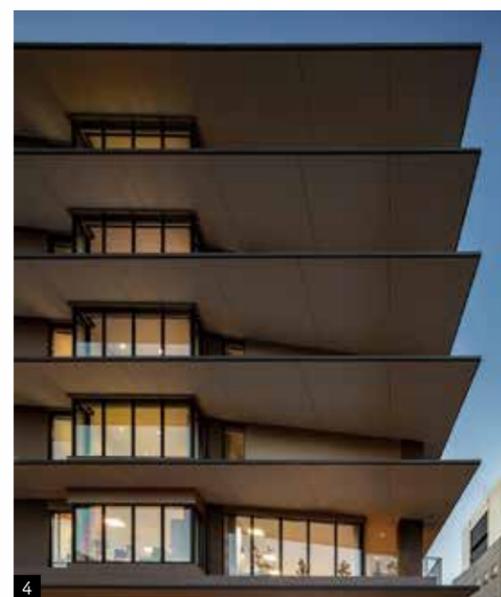
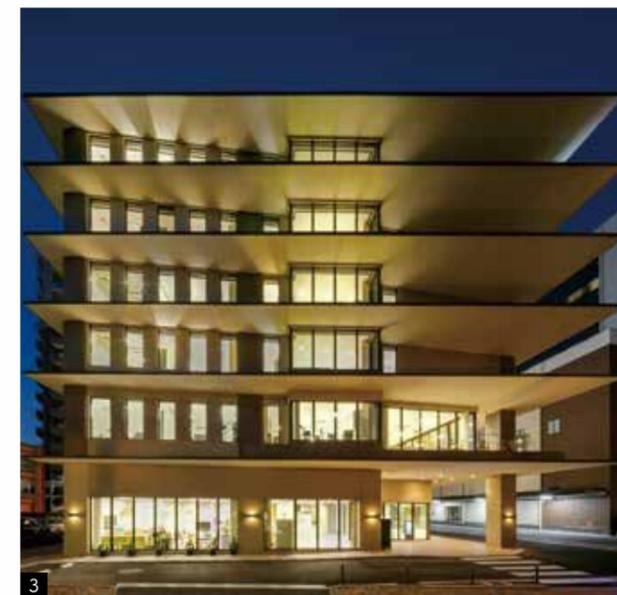
最後に、景観まちづくりとしては、街区全体の印象も重要になる。今後に向けて、意匠だけではなく運用のルールも含め、キラメキテラスの全体性を獲得していただきたい。

受賞者の声

健“幸”をテーマとし、2病院が中核をなす街区であるキラメキテラスの象徴たるテラスが「五重の塔」のように積層され、“30年後の未来”を照らす贈り物の1つとしての想いを込めて計画致しました。

医療法人玉昌会
理事長 高田 昌実

所在地	高麗町43番30号
建築主	医療法人玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル
設計者	株式会社三菱地所設計
施工者	松尾建設株式会社
概要	用途:病院 構造等:鉄筋コンクリート造、 一部鉄骨造 延面積:9,671.57㎡



1 外観東面 2 外観東面 3 外観南面夜景 4 外観南面夜景 5 2階エントランスホール 6 外観西面夜景 7 東側縁側廊下



enefil吉野

私たちは近代から現代に至る間、町中から少しずつ離れて郊外に住宅を求め、都市を拡張してきた。この建物は、そのように郊外住宅地として開発されてきた吉野台地に建つ、都市ガスを扱う会社のサービスショップである。

特筆すべきポイントは、建築の配置および外構の計画にある。バス停に面する正面は、歩道からセットバックした空間に多くの木々が植えられ、歩道に接して設えられたベンチとともに緑陰の気持ち良い庭園として、一般歩行者に提供されている。また、木々に囲まれ湾曲した駐車場へのアプローチを抜ければ、堂々とした桜島への眺望が一気に開かれる。吉野台地らしい、鹿児島の人々が誇るべき風景である。また、駐車場以外の部分には、芝生に覆われた雨水を浸透させるスペースも設けられ、豊富な植栽を育むための環境を整えるのみならず、雨水をすぐに排出せず敷地の中で貯留する治水的な効果とともに、牧場であった吉野の原風景をも想起させてくれるものとなっている。建築そのものは、周辺の街並みに馴染むようにボリュームを抑えつつ、鹿児島県産材のみで構成する大断面の柱と梁の木質ラーメン構造によって、開放的な室内空間を実現している。地材地建を達成するだけでなく、使用材料の統一化による廃棄物の発生を抑制したり、天井や軒裏は構造体を表しの仕上げにすることによって再利用できる建材の割合を高めたり、環境への配慮をいくつも積み重ねていることも素晴らしい。屋外に開放するガラス面を多く採用しているが、外構の植栽や木格子のルーバーなどによって、日射コントロールとともに視線のコントロールも行なっている。

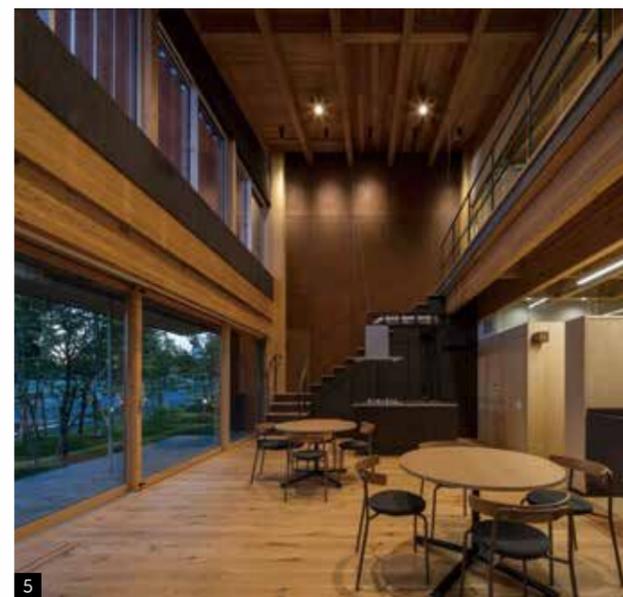
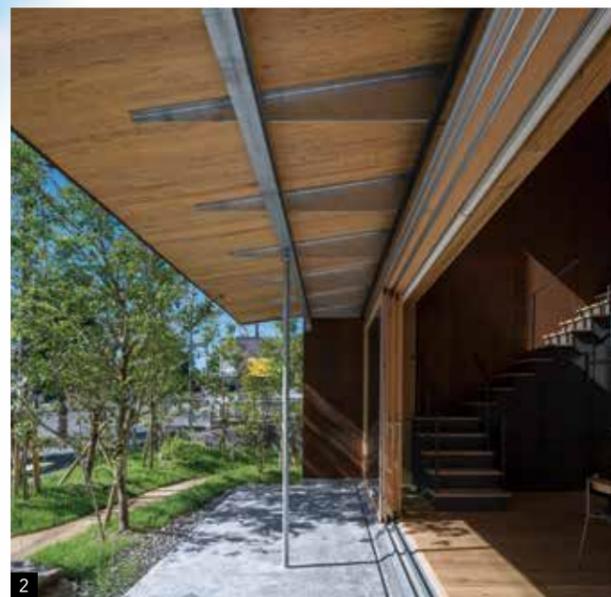
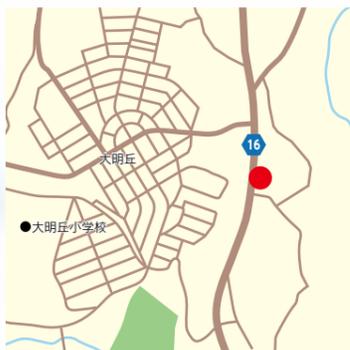
郊外住宅地に立つ営業所として、景観や環境という点から、一つのモデルになりうる建築である。豊かな植栽や木質の建築は、これからも日々、その表情を変えていくだろう。美しく歳を重ねながら、吉野の地域を象徴する施設として、さらに育っていくことを期待している。

受賞者の声

バス停の歩道脇にピオトープがあり、一息つけるベンチがある。その先にカフェのようなショールームがあり、バスを待つ間少しワクワクした思いで眺めてしまう。そんな地域でありたいと願っています。

トラス・アーキテクト株式会社

所在地 吉野町9100番地1
建築主 日本ガス株式会社
設計者 トラス・アーキテクト株式会社
施工者 日本ガス住設株式会社
概要 用途:事務所
 構造等:木造(木質ラーメン構造)
 延面積:474.47㎡



1 建物正面 道路面より見る 2 軒下空間と緑の庭園とバス停 3 軒下空間から桜島を見る 4 展示・打合せスペース(昼間) 5 展示・打合せスペース(夜間)
 6 受付スペース、構造の連続性 7 2階フリースペースから桜島を見る



本願寺鹿児島別院 城西出張所

交通量の多い交差点に面し、住宅密集地の中に立つ寺院である。昔から、寺は地域コミュニティの中心であったが、現代的な街並みの中にありながら、寺院が有している本来的なあり方を感じさせてくれる建築である。

まず、周辺環境を丁寧に読み取った構え方が素晴らしい。面する交差点は複雑な形状をしていて、特に歩行者にとって使いやすいものではない。その中にあって、建築の主要機能を2階以上に上げることによって、一般の方も利用できる通り抜け動線を1階に確保し、施設利用者だけにとどまらない利便性を地域に提供している。さらに、この通り境内は、一般にも開放されている会議室などにも面しているが、灯籠を吊るす器具などが事前に設置されており、人々が集まる場所であるということがしっかりと考えられた空間づくりが行われている。一方、寺院の正面玄関は2階になるのだが、開放的な大階段や適切なサインによって、利用者を惑わせることもないだろう。交差点から見た時にこの建築の顔となるのは、プロフィルガラスに覆われ、駐車場へ大きく斜めに張り出した3階部分であろう。この内部が、住職の住居になっているとは驚きである。このプロフィルガラスは、住宅らしさの表出を避けると同時に、目の前の交差点との適度な距離感を生み出し、強い西日を制御しつつ通風も確保して居住環境を高める工夫である。夜は、住宅の内部照明がガラス越しに漏れ、交差点を照らす「街の灯」ともなっている。

密集住宅地の中の複雑な敷地形状において、既存施設を残置させつつ、様々な複雑な機能を周辺から突出しないボリュームでうまくまとめ、さらには、この地域の未来を展望するような、新しい都市景観を創出している。地域に開いた寺院という、古くも新しい課題を真摯かつ大胆に解決した建築であり、それを実現した施主や設計者の努力が高く評価された。

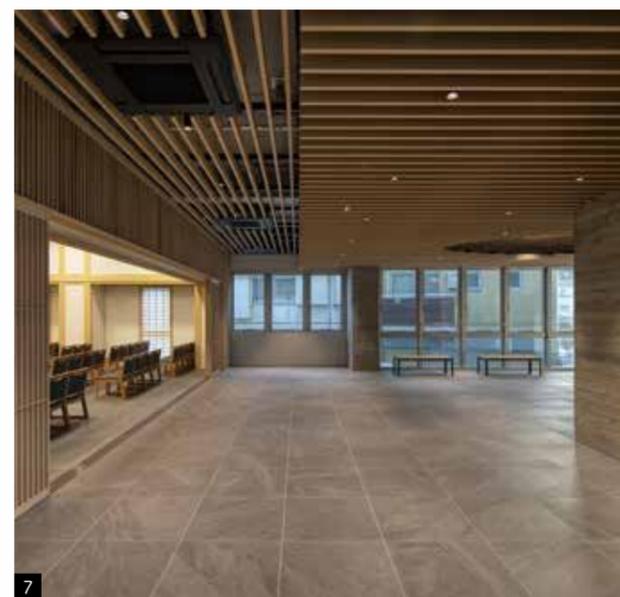
受賞者の声

通りに面する寺院は、門信徒の方々の悲願でした。新寺院は街に向き、立ち寄りやすい環境をつくり、地域とつながる心の拠り所を目指しました。

末永く親しまれることを願います。

本願寺鹿児島別院

所在地	城西一丁目26番19号
建築主	本願寺鹿児島別院
設計者	株式会社みのだ設計
施工者	内村建設株式会社
概要	用途: 寺院 構造等: 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 延面積: 1,421.67㎡



1 プロフィルガラスルーバーの灯が浮かぶ 2 大通りより見る正面アプローチ 3 エントランスより通り境内・大階段を望む 4 木格子・プロフィルガラスルーバー組合せ 5 通り境内: 杉板本実コンクリート打放し列柱の素朴なデザイン 6 ロビーから外陣を望む: 格子と杉板本実コンクリート打放し組合せ 7 通路からロビーを望む



JR鹿児島中央ビル (AMU WE)

鹿児島中央駅の西口が、駅利用者や周辺に暮らす人々が快適に行き交うことのできる空間へ劇的に生まれ変わった。その実現のためには、建築単体のデザインのみならず、それ以前の都市計画的な工夫も重要であった。

この建築は、既存駅舎に対する増築建物として計画されたが、建築基準法や消防法を適切に解釈することによって、渡り廊下で既存駅舎と接続した別棟建物としている。また、それらの間にあった市道を利用しての既存駐車場への車の往来は、既存駐車場出口を2階に変更し、ブリッジで増築立体駐車場と接続・経由させ、道路幅員が拡張された市道32号線に出庫する動線としている。以上の工夫によって、車と歩行者動線を分離することが可能となり、単なる通路であった市道は、人々がゆっくりと歩き、過ごすことのできる都市計画通路・歩行者空間として生まれ変わることができた。この空間には、県在来樹が豊かに植樹され、柔らかな曲線のベンチが設けられている。また、建物低層階のバルコニーにも植栽帯が設けられていたり、2階レベルの床面のデザインも都市計画通路と同様の曲線のデザインが展開されていたり、室内と外部空間を立体的な一体空間とする工夫も随所に見られる。また、建物のメインエントランスとなるピロティと既存駅舎を直結する渡り廊下の天井には、鹿児島の伝統工芸品である薩摩切子をモチーフとした天井ライン照明を設けたり、オフィス専用エントランスに桜島と錦江湾を手漕ぎ和紙で表現した光壁を設けるなど、鹿児島らしさの演出にも余念がない。加えて、建物外観の色彩も黒系からチャコール、白系へと段階的に変わっていき、周辺の街並みとの調和も実現している。

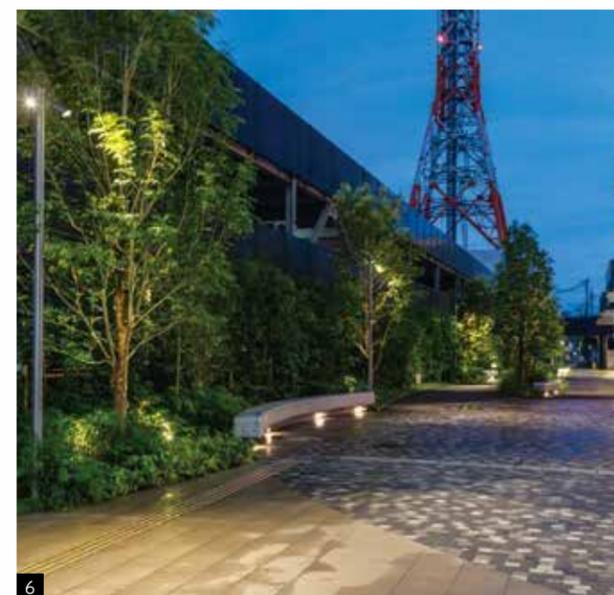
これからの都市開発のお手本ともなるべき建築であるが、願わくは、快適な都市計画通路が、隣接する店舗との連携や動かせる椅子などによる居場所づくりが進み、より生き生きとした場所へと育っていくことを期待したい。

受賞者の声

JR鹿児島中央ビルは「住みたい、働きたい、訪れたい、まちづくり」をコンセプトに、鹿児島中央駅西口に新築したオフィス・商業の複合ビルです。歩行者空間には四季を感じる彩りのある樹木や柔らかな曲線のベンチを設け、地域の皆様が買い物や散歩の際に安らぎを感じられる憩いの空間としました。近くまでお越しの際は是非お立ち寄りください。

九州旅客鉄道株式会社

所在地	武一丁目2番10号
建築主	九州旅客鉄道株式会社
設計者	清水建設株式会社一級建築士事務所
施工者	清水建設株式会社九州支店
概要	用途: 駅舎(店舗付き事務所) 構造等: 鉄骨造 延面積: 132,744.61㎡



1 外観 北東面 2 航空写真 北東面 3 2Fエントランス 4 外観 西面 5 内観 2Fロビー 6 外観 都市計画施設 夜景 7 4Fラウンジ



関吉のアジサイロード・桜並木を主とした自然の景観で彩る下田町

関吉の疎水溝は2015年に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の8県11市にまたがる23の構成資産のうちの一つであり、鹿児島市磯地区で営まれた集成館事業の動力源として水を供給した取水口である。自然の地形を利用して取水口を設置し、流速を一定に保つためにほぼ水平に掘られた疎水溝は7キロに及び、工業用水としてだけでなく、路線途中にある田んぼの用水路としても利用され、地域の人々から「殿様の水」として大切にされてきた。

世界遺産登録前年度、鹿児島市では構成資産の立地地域町内会に対して活動協力を依頼し、関吉の疎水溝のある下田町町内会では登録年より「地域魅力アッププロジェクト」として周辺の清掃活動、水路沿いや道路脇への季節の草木の植栽と管理を開始した。その活動は、個人の活動として現在でも継続されている。具体的には、水路沿いに200株のアジサイとともにカンナやヒガンバナ等を、道路脇には20本以上のモミジを植栽し管理している。また、100本以上の桜並木の土手は、町内会と連携して藪払いや野焼きを行っている。これらの活動によって、いつ訪れても、季節感豊かな景観が維持されている。

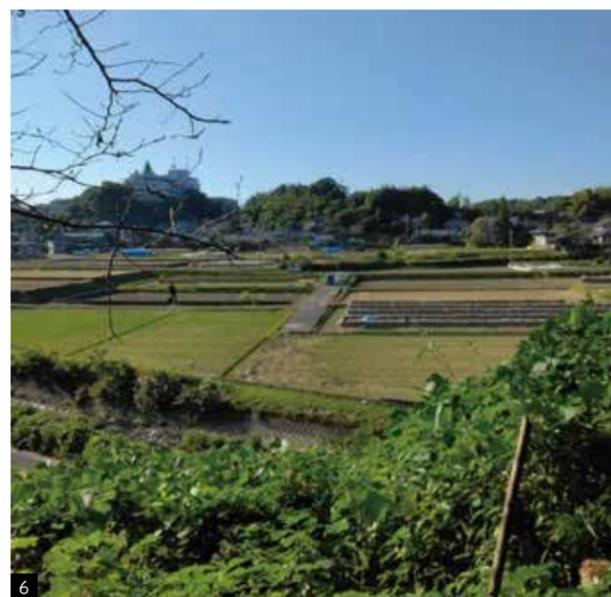
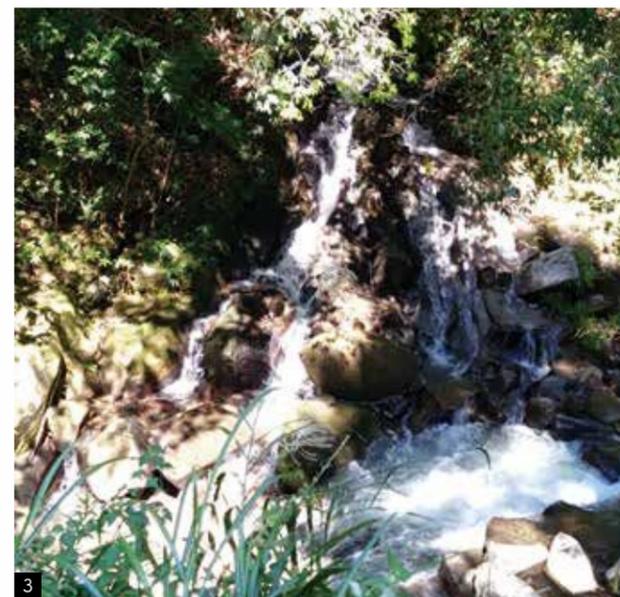
世界遺産を一度見て終りではなく、世界遺産がある下田という地域が多くの人々に見られることを認識し、どの時期にきても何度きてもよいところだといってもらえるようにということで、疎水溝にそっての植栽活動・保全に心を砕かれている。時として、行政に管理を任せきりになってしまいがちな条件下において、住民自らが世界遺産登録後の来訪者を意識した植栽活動を発案、継続し、登録10周年を来年度に控えて、活動がさらに充実しているのは、鹿児島のみならず、全国の模範となるだろう。また元々の用水路としての疎水溝への理解と愛着を基盤としたこの活動が、宅地化が進む周辺地域に比べて、原風景とも言える良好な田園風景を伝えてくれていることにも、大いに感謝したい。

受賞者の声

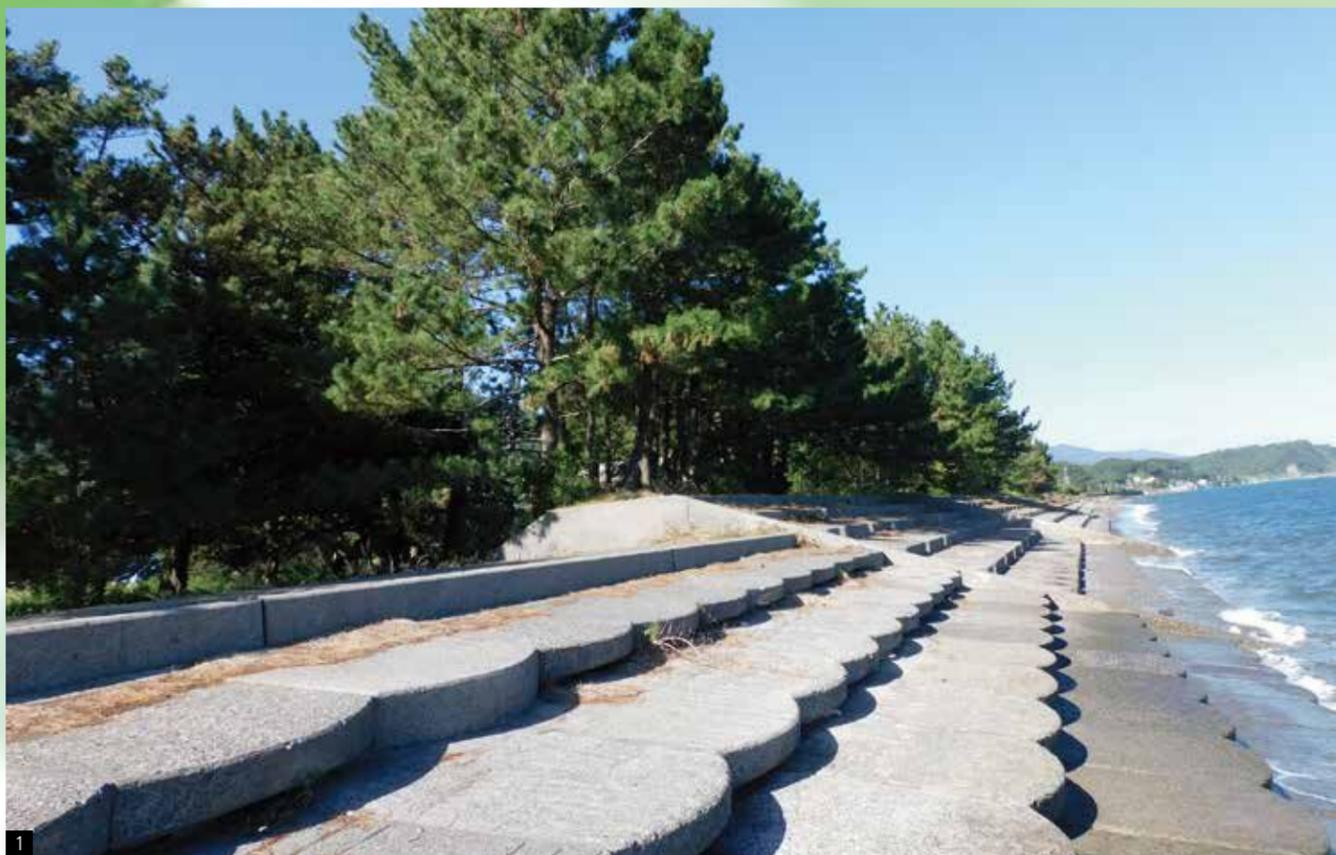
世界文化遺産である関吉の疎水溝周辺の環境保全のため、そして地域の大切な宝ものとして関吉の疎水溝を守り後世に伝えていくため、疎水溝周辺のアジサイやオオテマリを管理を行っています。

米元 勝男

所在地 関吉の疎水溝周辺
氏名 米元 勝男
取組内容 関吉の疎水溝周辺の清掃・植栽活動



1 アジサイロード 2 アジサイロード 3 関吉の疎水溝 4 関吉の疎水溝 5 桜並木 6 里山 7 里山



景観事業「松林保安林内の草刈り」

島国である日本の海岸線は長く、総延長は35,000kmにおよびそのおよそ1割が砂浜といわれる。このような環境に長く暮らしてきた私たちにとって、砂浜と松林が続く白砂青松という言葉は、決して観光地のみを指すのではなく、もっと身近で日常的な景観をあらわしていたのだろう。しかし、松林によって砂の飛散を防ぐ必要がある遠浅の海は、その多くを埋め立てられ、道路や工業用地となり、白砂青松の景観は今や貴重なものとなってしまった。そんな景観が生見海岸にはある。地域の方々に大切に守られながら。

鹿児島県内の観光地・指宿に向かう国道226号を走っていくと、鹿児島市の南端あたり、桜島を除く市内2か所の海水浴場のうちの一つである生見海水浴場に接して、この保安林はある。実は、鹿児島市唯一の松林保安林である。地域の方々が平成27年に生見まちづくり協議会を設立し、草刈りを始めるまでは、保安林内には雑木雑草が生い茂り、薄暗く、海を見通すこともできなかったということだった。それが今や、松林はすっきりとした景観となって、海が見通せるようになっただけでなく、初冬には地域の方々が植えたツツブキ（旧喜入町の花でもある）の黄色い花が咲き乱れる美しい景観を呈するようになったのである。

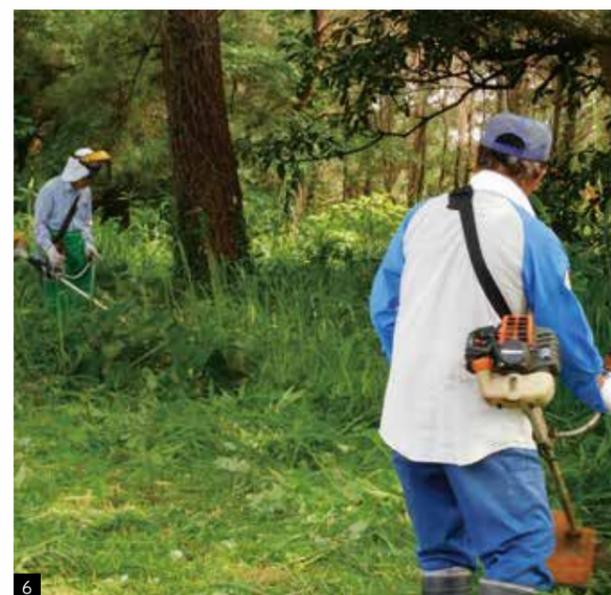
その延長は500mにもなるのか。短くない距離だが、この活動も10年を迎えようとしている。まず、その継続性に敬意を表したい。さらに素晴らしいのは、このような整備は観光や賑わいを目指す方向に向かいがちであるが、この活動はそうではなく、試行錯誤しながら、生見海岸のあるべき姿を見据え、景観だけではなく林内の環境の再生を目指していることである。そもそも日本の自然は、里山に見られるように、人の手が適切に加えられながら維持されてきた。この生見海岸の景観と、それを支える地域の方々の活動には、その原型を見る思いである。活動の継続には、多くの困難が伴うだろうが、これからはぜひ続けていってほしい。

受賞者の声

生見校区は少子高齢化が急速に進んでおり、小学生児童15人の小さな校区です。まちづくり協議会の事業に皆さん協力的で、今回の賞を頂きました。これからの景観事業の励みになります。

生見まちづくり協議会

所在地 喜入生見町
活動団体 生見まちづくり協議会
取組内容 松林保安林内の草刈り



1 海からの松林 2 鹿児島寄り松林 3 鹿兒島寄り松林 4 つわぶきの開花 5 松林保安林内の草刈り 6 松林保安林内の草刈り 7 作業前安全確認



耕作放棄地を遊べる農園へ ～KADAN農園プロジェクト

全国で次々と生まれる耕作放棄地。多くの地域では、雑草が伸び放題、寂しい荒れた景観を代表するものとなっているだろう。しかしここでは、コミュニティの拠点として、生き生きとした豊かな景観を生み出している。

子育て支援を軸とした活動団体「喜入子育てコミュニティKADAN」が、こども食堂などを展開していた拠点である善行寺の目の前の耕作放棄地の持ち主から、「ゴミの投棄があったり、見通しが悪いと近隣の住民から苦情があるが自分ではどうしようもできない。何かに活用できないか」と相談を受けたことからプロジェクトは始まった。地域住民とのワークショップや観光農園の視察などを通して構想を深め、また、地域住民の協働のもと、草刈りや土おこし、苗植えを行い、少しずつ「遊べる農園」を形づくっていった。このような丁寧なプロセスが、地域の人々の愛着を育み、持続的に維持される土壌をつくっていたのだろう。

また、行政が整備した公園ではなく、協働でつくられ維持されている公園だからこそ生まれる自由さ、公園本来のあるべき姿を示唆する点で意義深い。加えて、様々な寄付によって植えられた木々や丁寧に維持された緑は、背景となる森の緑とともに、地域の景観をより豊かなものにしており、雨が降れば水が溜まるという現象も、この土地が田圃だったことを想起させ、これもまた、この土地らしい景観だろう。

さらに素晴らしいのは、課題となる草刈りを、情報技術をうまく活用することによって、新たな担い手の可能性を喚起し、地域外の人々がつながる交流の場として、「草刈りツーリズム」という、ネットワークを広げる活動と連携させて解決していることである。ここ「KADAN農園」は初心者でも草刈りの知識や技術の習得ができる「草刈り道場」としての役割を担っており、まさに、発想の転換である。ぜひ、これからも活動を継続させ、この地域らしい生き生きとした景観を生み出し続けていただけたらと切に願う。

受賞者の声

「歩いて行ける公園が欲しい」という要望と「耕作放棄地をどうにかしたい」という課題解決に「遊べる農園プロジェクト」が発足。数年経過した今も活動が継続発展しています。

喜入子育てコミュニティKADAN

所在地 喜入町
活動団体 喜入子育てコミュニティKADAN
取組内容 遊べる農園作り、草刈りツーリズム



1 遊べる農園（KADAN農園） 2 遊べる農園作りに着手 3 耕耘を繰り返した 4 苗木は売れ残り品などから 5 ワークショップ
6 子供たちと一緒に 7 草刈りツーリズムプロジェクト



1 昼間近景 2 夜間近景

苔とも 苔だまディスプレイ

草木の根を土で包み、土のまわりを苔でおおった小さな自然、苔だま。このディスプレイは、苔だまのオンラインショップの広告看板である。往時の都市景観を彷彿とさせる銅板葺きの三角屋根が3つ並ぶ小さな建築群に、苔だまの実物を展示するアイデアがユニークである。看板とは、街の中に建つものである。苔だまが小さなものに自然を凝縮したものだとなれば、この看板は、それが建つ街の風景を凝縮したものと言えるかもしれない。加えて、耐久性の高い材料を使用することによって、街路の安全性を確保し、苔だまを照らす間接照明が、夜には街路をやさしく照らす灯りになるなど、一つの広告を通して街路景観全体を改善しようとする意思も素晴らしい。このような都市景観的配慮は、広告物そのものだけでなく、その背景となるビル壁面を黒く塗装し直していることにもあらわれている。

商品の魅力をよりよく伝えることが広告の目的だとすれば、派手な形や色で目立たせることが最適解だとは限らず、むしろ失敗している例の方が多くはないだろうか。広告の立つ周辺景観に対する配慮や、ユニークなアイデアによって、商品だけではなくその背景となる思想までも表現したという点で、優れた広告作品である。

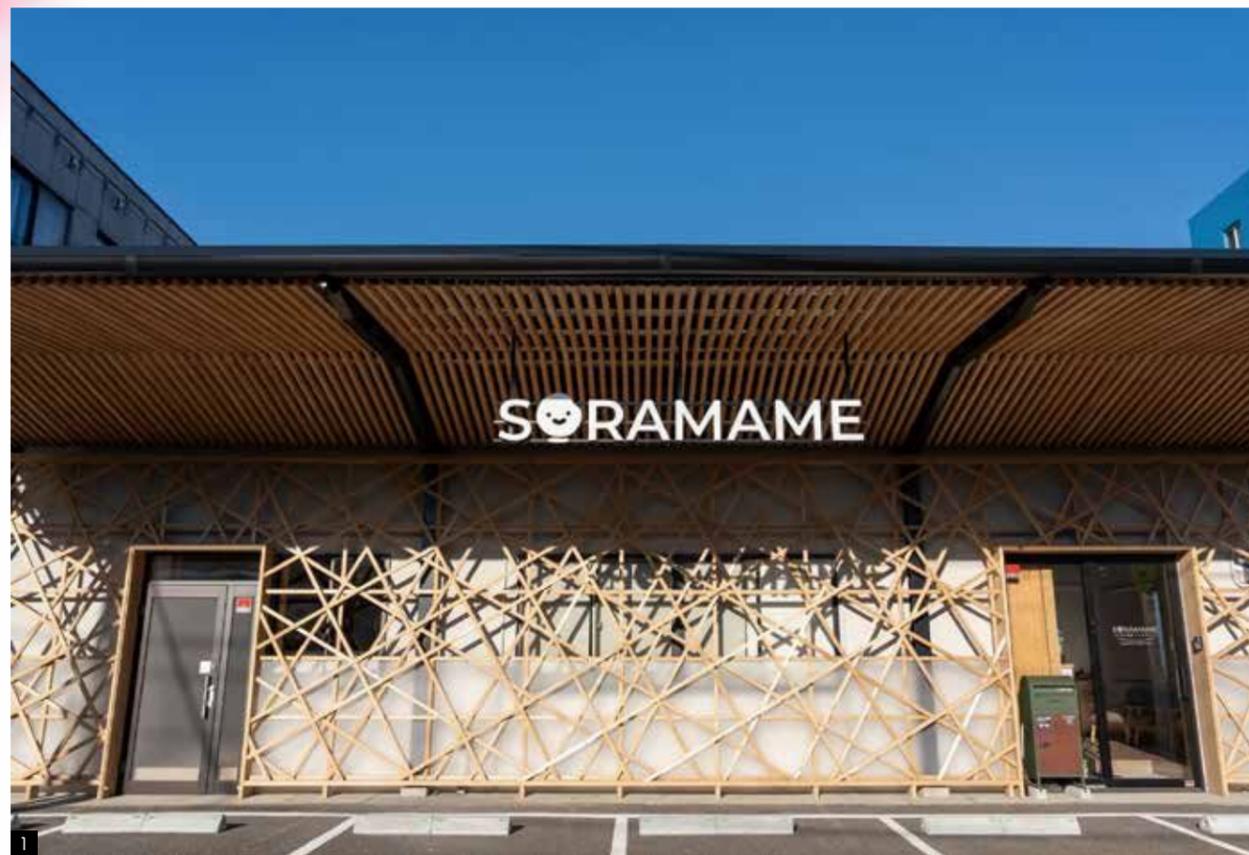
所在地 上之園町22番7号 制作者 トラス・アーキテクト株式会社
 広告主 株式会社バルコーポレーション 種別 壁面広告物



2 受賞者の声

広告は企業の利益を得るための活動ですが、今回は広く公共性を重視し、ここに広告物がある事で‘まち’が豊かになる事、地域に開かれた企業である事を想像して作成しました。

トラス・アーキテクト株式会社



1 全景 2 全景(夜景)

そらまめキッズ 東谷山店

発展しつつある住宅街に建つ、子供たちのことばや発達をトータルでサポートする療育施設の広告である。倉庫をリノベーションした建物を覆う木製のファサードとサイン、路端に立つ野立看板によって構成されている。

多くの子供を受け入れる施設の広告であるため、優しさが求められたのであろう。無垢の木材を大きく使用していることや、そらまめの黄緑色をアクセント色として用いたことなどに、その点がよくあらわれている。しかし、この作品の秀逸さは、そのような明快な選択を支え、上質な空間に仕上げるデザイナーのセンスである。例えば、底の垂木の折れに合わせた木の形状や細い木材の集合で構成される木質のファサードを壊さないように位置やサイズ、色彩をコントロールした垂れ看板や、野立看板においては、壁柱から適度にはみ出してアクセントになりつつ、周辺から浮きすぎない絶妙な彩度を持つそらまめのロゴマークなどである。

周辺景観に配慮することを当然とする良識と、デザインを高質に仕上げる職人的な技術によって支えられ実現した、優れた広告作品であり、これからの広告のスタンダードになっていくべきものである。

所在地 東谷山三丁目25番13号 制作者 株式会社インタック
 広告主 株式会社スカイメディアラボ 種別 壁面、野立広告物



2 受賞者の声

この度は、景観まちづくり賞に選んでいただき誠にありがとうございます。

木が交差するように重なり合っている壁の格子はここに沢山の笑顔が集い、ご縁が紡がれていきますようにとの思いを込めてデザインいたしました。

株式会社 インタック
 神園 一基





1 全景 2 全景(夜景)

センテラス天文館

センテラス天文館は、戦後の天文館の復興の象徴ともいえる高島屋の跡地に建つ再開発ビルである。「セン」には千日町の千や中心地(センター)という意味が、「テラス」にはテラスや照らすという意味が込められており、商業施設としてだけでなく、快適な図書館や桜島を望める展望エリアなどを含めて、天文館の新しい中心となっている。

この広告を一言であらわすとすれば、上品という言葉が最適だろうか。まず、ロゴのデザインそのものが洒落ている。そのロゴを、余計な枠などをつくらずに設置しているのもシンプルである。加えて、ロゴの下部に設置されているテナントの看板も5つに限定され、サイズもコントロールされている。白く爽やかな壁面、シンプルなロゴ、抑制されたテナント看板、それら全てが一つの調和をつくっていることが素晴らしい。

街中の主役は人である。歩いている人、信号待ちをしている人、街角で会話をしている人。彼ら、彼女らにとって、派手な色、大きな形、騒々しい音を持つ広告は必要なのではないだろうか。適切な場所に適切な色や形で、さりげなく提示するだけで、十分に広告の効果は発揮されるし、むしろ好感さえ抱かれることをこの広告は教えてくれる。

所在地 千日町1番1号 制作者 株式会社ブンカ巧芸社
 広告主 株式会社千日14開発 種別 壁面広告物



2 受賞者の声

天文館の中心にある新しい複合商業施設「センテラス天文館」。さまざまなヒト・モノ・コトが行き交うこの場所は鹿児島市の新しいランドマークとしての役割を担っております。施設名称の「T」のマークは人や街、そして千年先の未来を照らす灯台のように鹿児島市の中心地で光り輝けることを願います。
 株式会社ブンカ巧芸社



第7回 鹿児島市 景観まちづくり賞

1 目的

景観まちづくり賞は、良好な景観形成に寄与している優れた建築物や屋外広告物、並びに市民等の活動により保全されている景観の良好な街並み、田園、海岸、緑地、及び景観形成に貢献している市民等の活動を表彰し、これらを広く紹介することにより、景観に対する市民や事業者の関心を高め、魅力的な景観のあるまちづくりを進めることを目的として実施するものです。

2 募集期間

令和6年6月24日(月)～8月30日(金)

3 募集対象

1 建築部門

良好な景観形成に寄与し、平成26年4月1日から令和6年8月30日までに建築基準法による検査済証の交付を受けた市内の民間建築物

2 屋外広告部門

良好な景観形成に寄与する市内の民間屋外広告物

3 景観部門

- 市民・事業者によってつくられ保全されている市内の良好な景観
- 市内で継続的に取り組まれている景観まちづくり活動

4 応募件数

建築部門:19件 屋外広告部門:6件 景観部門:5件

5 審査会

1 期間

令和6年10月9日(水)、19日(土)、20日(日)

2 審査会委員

委員長	星野 裕司 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター教授
副委員長	川島 茂 鹿児島県立短期大学教授
委員	木方 十根 鹿児島大学大学院理工学研究科教授
	小山 雄資 鹿児島大学大学院理工学研究科准教授
	古川 恵子 鹿児島女子短期大学名誉教授
	江良 きよ子 era色彩計画代表
	東川 美和 NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会事務局長

6 表彰

建築部門	建築主 賞状及び銘板 設計者 賞状 施工者 賞状
屋外広告部門	広告主 賞状及び銘板 制作者 賞状
景観部門	活動団体又は個人 賞状及び賞金10万円
特別賞	建築主・設計者・施工者 賞状

7 その他の二次審査対象

鹿児島県信用保証協会新事務所

雑多な裏通りへと移転してきた事務所建築である。単純なシルエットを持つ全体形と、色ムラのあるルーバーの規律的なスクリーンによる表層が特徴的である。また内部は前面道路側に吹抜状のラウンジを配置した空間構成とすることで、街から社員が自由闊達に働く姿をルーバー越しに感じとれるよう工夫されており、外部内部ともに、一定水準以上の建築的な達成がなされている。一方で、無骨なルーバーによる表層が、設計者が求めたカジュアルさに貢献しているか、大きく周辺環境が変わっていく中で、建設時の姿が維持されるのかどうかという点に疑問を持った。



第1回
(平成22年)
受賞作品

■ 建築部門 ■ 景観部門 ■ 屋外広告部門 ■ 特別賞



薬師堂の家

用途 専用住宅(車庫付)
所在地 東谷山三丁目
建築主 個人
設計者 株式会社小森昌建築設計事務所
施工者 株式会社新生組
構造等 鉄筋コンクリート造2階



東宝アルパビル
リッチモンドホテル鹿児島天文館

用途 ホテル
所在地 千日町14番1号
建築主 高浜土地起業株式会社
設計者 竹中工務店九州一級建築士事務所
施工者 竹中工務店九州支店
構造等 鉄筋コンクリート造11階



STEP

用途 共同住宅
所在地 松原町11番7号
建築主 田代隆宏
設計者 サウルス建築設計事務所
施工者 株式会社前屋敷組
構造等 鉄筋コンクリート造7階



大原地区フラワーロード

所在地 本名町7934番地1号
団体名 大原地区公民館連絡協議会
内容 県道沿いの花壇の整備、維持管理
・幹線道路の緑化
・路側帯の空き地150mの花壇等の苗植え、草取り、水遣り、清掃



八重の棚田

所在地 郡山町八重
団体名 八重地区棚田保全委員会
内容 棚田の保全と都市農村民交流による地域活性化
・八重山の山腹に広がる約240枚からなる石積みの棚田の維持保全
・棚田を生かした農作業体験を通じ、都市部住民と地域住民の交流



マルヤガーデンズ

所在地 興原町6番5号
団体名 株式会社九屋本社
内容 商業施設の再生、壁面緑化、屋上緑化
・商業施設の改修工事におけるメインファサードの壁面緑化、屋上緑化
・コミュニティスペース「ガーデン」の設置、運営

景観とは・・・

■ 景観は、それぞれの地域ごとの歴史、地勢や生態系などの風土、文化や伝統、私達一人ひとりの暮らしや経済活動等と、技術の進歩や法律制度等が背景となってつくられるものです。

■ 良好な景観は、地域の個性や特色をわかりやすく特徴づけるものであり、人々の地域に対する愛着やふるさと意識を育みます。

■ 身近にある景観のよさは、潤いある魅力的で豊かな生活環境の創出に貢献します。

■ 美しく個性的な景観は、観光をはじめ国内や世界各地との交流を活発にする役割を担います。

第2回
(平成24年)
受賞作品



小規模特別養護老人ホーム寿康園・寿康園グループホーム坂山

用途 児童福祉施設等
所在地 本名町2196番地1
建築主 社会福祉法人寿康会
設計者 株式会社小森昌建築設計事務所
施工者 第一建設株式会社
構造等 木造2階



城山アパートメント

用途 事務所付長屋
所在地 城山一丁目57番12号
建築主 有限会社田代商店
設計者 サウルス建築設計事務所
施工者 株式会社深野木組
構造等 鉄筋コンクリート造3階



宮崎銀行鹿児島営業部

用途 事務所
所在地 山之口町12番9号
建築主 株式会社宮崎銀行
設計者 株式会社日建設計
施工者 坂下・楳村特定建設工事共同企業体
構造等 鉄筋コンクリート造5階



城山観光ホテル ガーデントラサ

所在地 新原町
団体名 城山観光株式会社
内容 「セミパブリック」としての庭園の開放
・ガーデンテラスの一般開放等による「市街地と庭園緑化教育」
・眺望景観の拠点提供、鹿児島島の魅力発信
・日本庭園「水園」の整備
・イルミネーションによる演出



桜島まるごと博物館

所在地 桜島全域
団体名 NPO法人桜島ミュージアム
内容 「桜島エコミュージアム」の実践
・桜島の魅力を体感して楽しむイベントの開発(散策ツアー、バスツアー、各種体験など)
・桜島の豊かな魅力の掘り起こしと情報発信



鹿児島中央駅前開発による都市景観の創出

所在地 中央町
内容 九州新幹線開業に向けた「南国センタービル」「鹿児島中央ターミナルビル」建設等の「鹿児島中央駅前開発」による新たな都市空間整備
表 彰 建築部門に応募のあった次の建築物の建築主(5名)を一連のプロジェクトの事業主体として表彰

南国センタービル
建築主 南国ビル株式会社
設計者 株式会社三葉地所設計九州支店
施工者 株式会社大林組九州支店

鹿児島中央ターミナルビル
建築主 南国中央ビル株式会社、南国殖産株式会社、株式会社鹿児島銀行、株式会社松元
設計者 三葉地所設計東条設計共同企業体
施工者 株式会社竹中工務店九州支店

景観まちづくりとは・・・

■ 自分たちのまちの景観を楽しみ、貴重な財産として次世代に残せるように、わがまちの景観を維持・継承・改善するための様々な取り組みが、景観まちづくりです。

■ 景観まちづくりは、現在の良好な景観を大切に保全することだけでなく、新たに現代的で美しく魅力的な景観をつくりだすことも含みます。

■ 清掃や緑化など、日々の暮らしに根ざした、まちの景観を整えるための地道な活動も、良好な景観まちづくりに貢献しています。

第3回
(平成26年)
受賞作品



社会福祉法人太陽会「しょうぶ園」における一連の建築

用途 創作作業棟など
所在地 吉野町5066番地
建築主 社会福祉法人太陽会
設計者 株式会社小森昌建築設計事務所
施工者 株式会社Misumiホームライフ事業部建設課/株式会社鶴留建設/株式会社ホームギング
構造等 木造1階(nui project) 他



鹿児島の家

用途 専用住宅
所在地 平之町
建築主 個人
設計者 石井良平建築研究所
施工者 株式会社新生組
構造等 鉄筋コンクリート造2階



学校法人ラ・サール学園学生寮

用途 寄宿舎
所在地 小松原二丁目10番1号
建築主 学校法人ラ・サール学園
設計者 鹿島建設株式会社九州支店一級建築士事務所
施工者 鹿島建設株式会社九州支店
構造等 鉄筋コンクリート造4階



西紫原小学校フラワーロード

所在地 紫原四丁目
団体名 鹿児島市立西紫原小学校
内容 「地域の環境緑化への貢献を目指した環境緑化教育」
・教員一体となった環境緑化整備活動
・通学路の公園、緑地帯等の清掃活動
・地域住民等への花苗、種子の配布活動



石橋記念公園及び周辺上町地域の景観形成

所在地 浜町
団体名 石橋記念公園子どもガイドの会
内容 「石橋記念公園及び周辺地域の景観形成活動」
・観光客等への案内ガイド
・公園内や周辺地域の緑化、美化清掃活動
・上町や周辺地域の景観の維持・管理
・鹿島の魅力を体感して楽しむイベントの開発(散策ツアー、バスツアー、各種体験など)
・桜島の豊かな魅力の掘り起こしと情報発信



ひらかわ美術館

所在地 常盤一丁目
代表者 平川あさみ
内容 「美しい常盤の森を借景とした展覧」
・古民家、庭園の再生と景観維持活動
・見学者への庭園の開放



照国表参道アーケード

所在地 東千手町
建設主 照国表参道商店街振興組合
代表者 平川あさみ
設計者 株式会社東条設計
施工者 株式会社日栄アート
表 彰 ・建設過程の熱意を持った取り組みと合意形成
・魅力的な表参道景観の形成と街のイメージアップへの寄与

第4回
(平成28年)
受賞作品



アミュプラザ鹿児島 プレミアム館

用途 物販店舗
所在地 中央町1番地1
建築主 九州旅客鉄道株式会社・鹿児島ターミナルビル株式会社
設計者 株式会社安井建築設計事務所
施工者 九鉄工業株式会社
構造等 鉄骨造8階



桜ヶ丘01-02

用途 一戸建ての住宅
所在地 桜ヶ丘八丁目
建築主 ヤマサハウス株式会社
設計者 野沢正光建築工房/ヤマサハウス株式会社
施工者 ヤマサハウス株式会社
構造等 木造2階



医療法人共助会 三州脇田丘病院

用途 病院
所在地 南七丁目26番1号
建築主 医療法人 共助会
設計者 大成建設株式会社一級建築士事務所
施工者 大成建設株式会社九州支店
構造等 鉄筋コンクリート造地下1階・地上3階



上町維新まちづくりプロジェクト

所在地 大電町ほか(上町地区)
団体名 上町維新まちづくりプロジェクト
内容 「上町地区の歴史・文化的遺産の保存・活用等」
・上町の魅力を再確認するプロジェクト立案、実施
・地区内歴史的遺産等の清掃活動 等



坂之上交差点いこいの花壇

所在地 坂之上一丁目
団体名 坂之上東部、坂之上東中、坂之上駅前、笠松・星和台 4町内会有志
内容 「国道225号坂之上交差点花壇の維持・管理」
・複数の町内会による緑化整備活動
・坂之上交差点付近の景観向上



池田製茶株式会社

所在地 南栄3丁目11番地茶業団地内
代表者 池田製茶株式会社
制作者 ZERO HOURS DESIGN STUDIO
種 別 野立広告物

第5回
(平成30年)
受賞作品



地域生活支援拠点ゆうかり

用途 障害者通所施設・寄宿舎
所在地 草牟田一丁目8番7号
建築主 社会福祉法人ゆうかり
設計者 無有建築工房
施工者 深野木・川井田特定建設工事共同企業体
構造等 枠組壁工法(木造)一部鉄骨造 4階



萩原技研本社ビル

用途 事務所
所在地 山下町16番20号
建築主 株式会社萩原技研
設計者 株式会社Dai建築DESIGN
施工者 株式会社ミナ建設
構造等 鉄骨造 6階



風の抜ける中庭を持つ WHITE CUBE

用途 アトリエ付住宅
所在地 薬師二丁目
建築主 個人
設計者 株式会社武田建築事務所
施工者 株式会社前田組、株式会社新生組
構造等 壁式鉄筋コンクリート造3階



鹿児島中央ビル2階「中央ビルテラス なかにわ」

所在地 山之口町1番10号
団体名 鹿児島中央ビルディング株式会社
内容 「中央エリアと天文館エリアをつなぐ高見馬場エリアの「にぎわい創出」」
・2F「なかにわ」の活用(緑化)
・1Fロビーの待ち合わせ場所化
・地下1F「なからが ぎやらり」の運営 等



南方校区の田園景観を活かした里づくり

所在地 東俣及び川田町の農家は場整備施行地内
団体名 南方保全会
内容 「南方校区の田園景観を活かした里づくり」
・彼岸花の里づくり
・桜と石橋のライトアップ
・ホテル観覧車 等



セイカ食品電照広告

所在地 千日町15番1号
代表者 セイカ食品株式会社
制作者 株式会社ハダ工業社
種 別 屋上広告物



建機ミュージアム

所在地 小野町3618番地
代表者 株式会社エコフロント西部
制作者 ZERO HOURS DESIGN STUDIO
種 別 野立広告物

第6回
(令和2年)
受賞作品



しょうぶ文化芸術支援センターアムアの森

用途 児童発達支援事業所
所在地 吉野町4022番地1
建築主 社会福祉法人太陽会
設計者 ウリウム・プラウワ・ウッドワークス 傾奥/廣建築設計事務所
施工者 三和建設株式会社
構造等 鉄骨造・地上2階、地下1階



「唐湊高台の住宅」

用途 専用住宅
所在地 唐湊一丁目
建築主 個人
設計者 株式会社小森昌建築設計事務所
施工者 株式会社秀成
構造等 木造軸組構造 2階



社会医療法人博愛会 相良病院

用途 病院
所在地 松原町3番31号
建築主 社会医療法人博愛会 相良病院
設計者 大成建設株式会社一級建築士事務所
施工者 大成建設株式会社九州支店
構造等 鉄筋コンクリート造・地上12階、地下1階、塔屋1階



七夕飾りがゆれる街

所在地 東谷山二丁目
団体名 桜川町内会高齢者クラブ
内容 「七夕飾り」
・町内会のふれあい交流



柿木平遊学会美化活動

所在地 郡山町
団体名 柿木平遊学会
内容 「花壇整備、清掃」
・公園愛護
・道路沿い除草



株式会社 山形屋

所在地 金生町3番1号
代表者 株式会社山形屋
制作者 株式会社ニシムラ
種 別 突出広告物



木の家づくり情報館 図書館「木かげ」

所在地 荒田二丁目28番19号
代表者 風理匠房 株式会社深野木組
制作者 株式会社ラジジグ
種 別 壁面広告物



POLDER Terrace

所在地 東開町5番地40
代表者 トヨタカラー鹿児島株式会社
制作者 株式会社ニシムラ
種 別 野立広告物



鹿児島銀行新本店(本店および本店別館ビル)

用途 事務所・店舗/事務所・店舗・集客場
所在地 金生町6番6号ほか
建築主 株式会社鹿児島銀行
設計者 石本・東条・武元共同企業体
施工者 大林・前田・渡辺、新生特定建設工事共同企業体
構造等 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート造/鉄骨造 地上13階、地下1階/地上8階